

分類：臨床医学Ⅴ(CC1)

授業科目名：総合診療・検査診断学 臨床実習（General Internal Medicine and Clinical Laboratory Medicine）- 臨床検査医学の実際 -

対象学年：5年次必修

時間割コード：71643002-21

1. 主任教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

2. 担当教員

植木重治（教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

嵯峨知生（病院教授、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8:30～17:00）

守時由起（准教授、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

嵯峨亜希子（助教、総合診療・検査診断学講座、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

藤岡優樹（助教、附属病院中央検査部、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

引地悠（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8:30～15:00）

長谷川諒（医員、附属病院総合診療部、6209、オフィスアワー：8:30～17:00）

肥塚慶之助（医員、仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8:30～17:00）

高橋琴乃（医員、男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座、6428、オフィスアワー：8:30～17:00）

石川陽子（、附属病院感染制御部、6248、オフィスアワー：8:30～17:00）

高橋智映（、附属病院中央検査部、6197、オフィスアワー：8:30～17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 授業の概要及びねらい

臨床推論に基づく臨床検査を選択することができ、結果を解釈できる。（2-4～2-6, 3-2～3-4, 4-1～4-2）

本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBM、基本手技について説明・実践できる。（1-1～1-2, 3-3, 3-5, 3-7, 4-4～4-6）

2. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

1）医師が自ら行う必要のある基本的な検体検査法および手技を実施できる。（1-1～1-2, 2-4～2-6, 3-2～3-5, 3-7, 4-1～4-2, 4-4～4-6）

2）静脈採血、血液形態学的検査、尿一般検査、微生物検査、呼吸機能検査、心電図検査などを実施できる。（1-1～1-2, 2-4～2-6, 3-2～3-5, 4-1～4-2, 4-4～4-6）

3）検体検査の実際と検体の取扱いに関する注意点について説明できる。（2-4～2-6, 3-2～3-5, 4-1～4-2）

4）医療関連感染対策の体制について説明できる。（1-1～1-2, 2-4～2-6, 3-2～3-5, 4-1～4-2）

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

ハリソン内科学書

新・総合診療医学家庭医療学編

新・総合診療医学病院総合診療医学編

臨床に役立つ検査値の読み方・考え方：河野・西崎編、総合医学社

臨床検査のABC：日本医師会編、医学書院

異常値の出るメカニズム：河合・尾形・伊藤編、医学書院

標準臨床内科学：猪狩・中原編、医学書院

新臨床内科学：阿部他編、医学書院

臨床検査法提要：金井編、金原出版

5. 成績評価の方法

- 1) 各項目ごとに教員による実習評価と授業姿勢による評価を行う。
- 2) さらに臨床症例を用いた検査診断演習発表によって実習全体の合否を判定する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

採血や検査を行うので、朝食や水分をとって体調を整えておくこと。
講義内容を復習しておくとい。

総合診療・検査診断学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [8:45-17:10] 副題 オリエンテーション、採血実習、総合診療カンファランス 担当 植木重治、各指導教官	・実習の概要について説明する - RCPC (Reversed Clinico-Pathological Conference) の症例提示 ・採血および末梢血塗抹標本作成の実習を行う ・総合診療の実際について学ぶ ・総合診療部カンファランスに参加する
第 2 回 火曜日 [8:50-17:10] 副題 細菌学講義、細菌検査実習、手洗い実習、生化学実習 担当 各指導教官	・細菌学と適正な抗菌薬使用方法について学ぶ ・手洗い実習を行い、標準予防策を学ぶ ・微生物、細菌検査の実習および結果解釈を学ぶ ・生化学、血清学的検査実習および結果解釈を学ぶ
第 3 回 水曜日 [8:50-17:10] 副題 肝疾患免疫講義、気道管理トレーニング、血液学検査実習、尿検査実習、検体採取トレーニング 担当 各指導教官	・肝疾患の血液生化学、免疫学的検査と気道管理について学ぶ ・血液学的検査、血液ガス分析検査の実習および結果解釈を学ぶ ・尿検査の実習および結果解釈を学ぶ ・検体採取トレーニング実習 ・実際の検査結果で検査値結果解釈を学ぶ
第 4 回 木曜日 [8:50-17:10] 副題 検査の読み方の基本、白血球分画と免疫・アレルギー疾患講義、感染制御部カンファランス、心電図検査実習 担当 各指導教官	・臨床検査成績の解釈と白血球分画および免疫・アレルギー疾患の種類と特徴について学ぶ ・感染制御部カンファランスに参加し、医療関連感染対策の基本を学ぶ ・呼吸機能検査、心電図検査の実習および結果解釈を学ぶ
第 5 回 金曜日 [8:50-17:10] 副題 感染症病棟見学、RCPC 症例発表 担当 各指導教官	・第一種感染症病棟を見学し、感染管理に対する取り組みを学ぶ ・初日に提示した RCPC 症例について発表およびディスカッションを行う ・実習全体の振り返り ・14:20～医学医療総合講義